

美しい多摩川フォーラム・平成25年度総会議事録

- ・日 時 : 平成25年5月25日(日)9:30~11:30
- ・会 場 : フォレストイン・昭和館 2階 シルバンホール(昭島市)
- ・来場者 : 会長、副会長、運営委員、監事、顧問、アドバイザー、一般会員等

(司会・渡辺) 開会までまだ少々お時間がございますが、事務局より幾つかご案内をさせていただきます。本日の総会の次第ですが、お手元の資料にもありますように、細野会長の開会挨拶の後、来賓の方のご挨拶があります。そのあと、経過報告をビデオ放映にてご覧いただき、議事に入りますが、第1号議案では平成24年度事業決算(案)、第2号議案では平成25年度事業計画・同予算(案)、第3号議案では、運営委員・監事の選任(案)についてご協議を頂きます。後半は、臨時運営委員会を挟んで、結果報告、意見交換、三多摩青年合唱団による「多摩川の歌」合唱を予定しており、終了は午前11時半頃となります。なお、広報用ビデオを撮影させていただきますので、あらかじめご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

1. 開 会

(司会・渡辺) 只今より、美しい多摩川フォーラム・平成25年度総会を開会致します。それでは、総会開会に当たり、事務局よりご報告させていただきます。

(事務局・及川) フォーラム事務局の及川と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日は、会員数1605名中、委任状による代理人出席を含め260名の会員が出席され、書面議決書提出の会員617名を加えて、合計877名ということで、当フォーラムの規約第12条2項により、本総会は成立しておりますことを、まずもってご報告申し上げます。それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願い致します。

2. 会長挨拶

(細野会長) 皆さん、おはようございます。先ほど事務局から報告がありましたが、会員が1500名を超えました。当フォーラムは平成19年7月に設立され、6年を迎えました。その間、色々なイベントを企画、実施してきましたが、現在は、東日本大震災を受け、私たちも何かしたいという想いから、「東北・夢の桜街道」プランを立ち上げ、今後10年、東北の人たちと一緒にまちづくりをしたり、復旧・復興のお手伝いをしたいと考えています。そういったことで、当フォーラムが注目され、あるいは期待されているところです。これもひとえに会員の皆さまのご協力・ご支援によるものと思っています。当フォーラムが社会的に名誉ある賞をいただいているということが、後ほど事務局から報告があると思いますが、それも皆様のご支援とご協力の賜物だと思っています。6年目の当フォーラムは、小学1年生となりました。これから中学生、高校生、大学生、そして社会人へと成長してい

きますが、どうかよろしく願いいたします。今日の平成25年度総会には、後ほど井上環境副大臣よりご挨拶をいただく予定です。土曜日の早朝より、本当にご苦労様です。これにて挨拶を終わります。有り難うございました。

3. 来賓挨拶

(司会) どうも有り難うございました。それでは、ご来賓の皆様からご挨拶を頂戴したいと存じます。まず初めに、東京都産業労働局観光部振興課観光まちづくり担当課長・小平房代様に、ご挨拶をお願い致します。

(小平房代様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、東京都産業労働局観光部観光まちづくり担当課長の小平でございます。本日は、観光部長の十河が出席させていただく予定でしたが、所用のため、私からご挨拶をさせていただきます。少し固い話をさせていただきますと、東京都は、「観光」を「産業」として位置付け、様々な施策を展開しております。宣伝となりますが、今週22日(水)、東京都観光産業振興プランを策定し、新しいものを発表しております。そのプランの特徴として、東京を磨き上げ、更にブランド力を築いて「観光都市ブランド・東京」「何度訪れても楽しめる東京」を創出していきたいと思っています。その中で、戦略のひとつとして、地域の観光資源の開発を位置付けています。その中では、地域においても、旅行者にとっても魅力を感じられる、「住んでよし、訪れてよし」と言われるような、地域の観光振興を推進してまいりたいと思っています。そういった中では、美しい多摩川フォーラムは、多摩川を中心とした地域の方々、様々な企業・団体・住民の方も含めて、多くの方が連携・協働しています。例えば、先ほど会長からご紹介がありましたが、桜の季節のリバー・ウォークや清掃活動など、多摩川の魅力を向上させる取り組みをされています。多摩川をキーワードとして、地域の観光振興を進めているフォーラムさんの活動は、東京都としても、大変素晴らしいことだと思っています。この秋には、「スポーツ祭・東京」として、多摩川でカヌー競技が開催されるということで、多摩川の魅力、山と川を合わせた美しい景色を全国の皆さまに発信する良い機会だと思っています。今後、東京都としては、こういった各種の団体が主体的に取り組む地域の活性化のお手伝いをさせていただきたいと思っています。今まで、関係者のご活動については、大変苦労もあったかと思いますが、素晴らしいことだと思っています。今後も、皆様のご活躍の中で、地域・多摩川の魅力が発展していきますことを祈念しまして、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうも有り難うございました。

(司会) 小平様、有り難うございました。続きまして、多摩川中流域の自治体を代表して狛江市長・高橋都彦様に、ご挨拶をお願い致します。

(高橋市長) 皆さんこんにちは。ご紹介いただきました、狛江市長の高橋でございます。本日は、運営委員の一人ではありますが、狛江市のPRも兼ねてご挨拶させていただきたいと思っております。ただいまご紹介がありました通り、狛江市は、多摩川の中流域に位置しておりますが、東京一面積

の狭い市であり、全国でも2番目に狭い市となります。私は、昨年7月に市長に就任しましたが、そのコンパクトさを逆に売りに出来ないかと、色んな施策を構築中です。その中でも多摩川は、狛江市にとっても大切な自然資産であり、この活用は重要な柱となります。昨年の夏、今日は欠席されているダニエル・カールさんや、及川事務局次長と一緒に、「美しい多摩川フォーラム号」のいかだに乗船しました。市長就任間もなく、何もわからないまま乗ったいかだに、ダニエルさんと及川さんがいたというのが実態です。無我夢中でいかだを漕いだのですが、私が足をひっぱったようで、順位は後ろから数えたほうが早いという結果でした。今年も、無謀にもチャレンジしたいと思っており、順位をひとつでも上げられるように、ダニエルさん、及川さんにもご同乗いただきたいと思っています。今年も、多摩国体が開催されますので、それに引っかけて、「多摩川」をキーワードに何か出来ないかと考えておりましたが、5月4日(土)に、狛江市と友好関係にある山梨県小菅村で、「源流祭り」が開催され、私も参加させていただきました。その祭りのフィナーレを飾る、日本一の火祭り、火を採火させていただき、狛江市に持ち帰りました。そして、いかだレース当日、会場で、狛江市民が新たに太陽の光で起こした火と、友好都市の火をひとつにして、最終的には国体の会場にある炬火台で点火したいと考えています。多摩川繋がり色々なアイデアを集めて活用し、狛江市の暑い夏と美味しい狛江をアピールできるように考えておりますので、ぜひ狛江市に足を運んでいただければと思います。多摩川繋がりと言いますと、年末には多摩川流域の郷土芸能の発表の場である、「多摩川郷土芸能フェスティバル」を12月に開催します。多摩川を資源とした活用を考えて参りますので、今後とも、多摩川流域の色々な目的に応じた連携関係を構築しながら頑張って参りたいと思いますので、ぜひ皆さんにもご協力いただければと思います。結びに、美しい多摩川フォーラム、そして多摩川流域がますます発展することを祈念し、私からの挨拶とさせていただきます。本日の総会、誠にありがとうございます。

(司会) 高橋市長、有り難うございました。なお、市長はご公務のため、この後中座なさいます。有り難うございました。続きまして、多摩川下流域の自治体を代表して大田区都市基盤整備部長・赤阪英夫様に、ご挨拶をお願い致します。

(赤阪英夫様) 皆さまおはようございます。ただいまご紹介をいただきました、多摩川最下流左岸の大田区から参りました、都市基盤整備部長の赤阪と申します。本来ですと、松原忠義大田区長が参る予定でしたが、公務多用のため、今年も私が出席させていただきました。私は今日を含めて総会に3回参加させていただいておりますが、フォーラムの行事が年々多くなり、内容も充実していることをつぶさに感じております。やはり皆さんが、地域を愛し、多摩川を愛し、地域を少しでも良くしようという想いが、実行力に繋がっているのかなと、いつも敬服しております。昨年の行事の中で、12月に「多摩川子ども環境シンポジウム」が開催され、大田区からは2つの団体が参加しました。ひとつは「調布大塚小学校」で、「総合学習で四季を通じて多摩川の学習をしている」という発表をさせていただきました。もうひとつは、「多摩川でボートを楽しむ会」で、今日は団体の方がいらしていますが、子どもたちにボートの楽しさを知ってもらおうと、ずっと活動を続けていらっ

しゃいます。子どもたちに感想を聞くと、スポーツとしてのボートではなく、自然を楽しんだり、川からの景観を楽しんだり、子どもの五感を研ぎ澄まして多摩川を感じていることに感心しました。引き続き、こういった活動を続けていきたいと思っています。ここで、ひとつだけ大田区のPRをさせていただきます。「梅ちゃん先生」や「羽田空港国際化」もありますが、今年はボブスレーの話をしたと思います。ボブスレーは「氷上のF1」と言われ、時速130～140キロの速さで競う競技です。ヨーロッパを中心として活動が盛んで、イタリアチームはフェラーリが作っています。ドイツのチームはBMWが作っています。日本は、その中古を利用して大会に参加しています。ここに着目し、大田区は、モノづくりの街ですので、ボブスレーを自分たちで作ってみようということで、日本から世界への挑戦ということで、実際に作ってすでに大会に参加していますし、2号機も制作中です。役所が中心になるのではなく、民間が中心になって、ワクワク・ドキドキさせ、周りが寄付を寄せて力を合わせて頑張るという趣旨がとても良いと思います。本会も同じだと思います。本会の「美しい多摩川100年プラン」の事業に賛同し、地域の経済・環境・教育文化が繋がるということに協賛し、最下流の大田区ですが、引き続き連携を図って皆さんと共に、良い地域を作っていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございます。有り難うございました。

(司会) 赤坂様、有り難うございました。続きまして、多摩川上流域の自治体を代表して青梅市建設部計画調整担当主幹・福泉謙司様に、ご挨拶をお願い致します。

(福泉謙司様) 皆さん、おはようございます。私は、青梅市の建設部計画調整担当主幹をしております、福泉と申します。いつもお世話になっております。本日は、青梅市長の竹内が、直接お邪魔してご挨拶すべきところではございますが、公務が重なっており、私が代わりに出席させていただくことになりました。竹内から、本日祝辞を預かって参りましたので、私の方から代読をさせていただきます。「本日は、設立6周年を迎えられる、美しい多摩川フォーラム・平成25年度総会が、盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。本総会にお招きをいただきましたが、公務のため出席することができず、誠に申し訳ございません。青梅市は、多摩川の上流域に位置しております。多摩川は、美しい清流景観と共に、四季折々に表情を変える風景は、多くの市民に愛されています。また、憩いの場、レクレーションの場として、市内外からも多くの人々が訪れる魅力ある存在であります。この美しい多摩川の魅力は、世代を超えて受け継いでいかなければなりません。このための取り組みも必要であります。青梅市では、毎年5月に、多摩川を望む釜の淵公園を会場に、生涯学習フェスティバルとして、「釜の淵新緑祭」を、8月には、「多摩川一万人の清掃大会」を開催しています。大勢の市民が、この美しい多摩川を身近なものとして感じ、環境を考えていただく機会になっていると考えております。また、本年は、「スポーツ祭東京2013」の年でございます。10月には、御岳渓谷を舞台に、第68回国民体育大会のカヌー競技を開催いたします。全国の皆さんに、この美しい多摩川の魅力を伝える機会になるものと期待しております。さらに、多摩川沿い地区の景観形成を図るため、この凱旋緑地等を、条例に基づく景観形成地区に指定

し、水と緑の景観軸の保全を図っております。また、国土交通省の「水辺の楽校プロジェクト」への登録を目指す等、親水施設の整備を推進し、学習の場、健康づくりの場として活用できる水辺の整備にも取り組んでおります。青梅市といたしましては、当フォーラムによるこれらの取り組みへのご協力に感謝を申し上げます。今後も、当フォーラムをはじめ、各種市民団体等との連携・協働に努め、この美しい多摩川を守り育てて参りたいと考えております。美しい多摩川フォーラムのますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。平成25年5月25日 青梅市長・竹内俊夫」皆さん、本日は大変おめでとうございます。

(司会)福泉様、有り難うございました。それでは、前にお座りの役員の皆さまは、お席をご移動ください。ご来賓の皆さまからご挨拶を頂戴いたしました。ありがとうございます。続きまして、経過報告に移りたいと思います。事務局から説明をお願い致します。

4. 経過報告（ビデオ放映）

(事務局)それでは、経過報告をさせていただきます。始めに、美しい多摩川フォーラムの活動が高く評価され、本年2月には、金融業界新聞最大手の日本金融通信社が、金融業界関係者を対象に毎年1回、1件を顕彰している名誉ある「ニッキン賞」を当フォーラムの事務局である青梅信用金庫が受賞しました。これは、美しい多摩川フォーラムが推進してきた「多摩川夢の桜街道事業」をベースに立案した東北復興支援の取り組みが高く評価され、賞牌と副賞50万円が授与されたものです。副賞の50万円は、当フォーラムの平成24年度第3回運営委員会において、青梅信用金庫森田理事長より、細野会長に寄贈されました。賞牌は、正面左手のテーブルをご覧ください。また、美しい多摩川フォーラムの森づくり活動が評価され、今月13日、東京都の猪瀬知事名で「とうきょう森づくり貢献認証制度・貢献認定書」が授与されました。正面左手のテーブルをご覧ください。貢献認定書の額縁には、多摩産材が使用されています。

なお、お時間の制約もありますので、定例事業等については、お手元の資料3ページをご参照いただければと存じます。本日は、フォーラム運動の報告として3本、また、東北・夢の桜街道事業の中から、シンボル事業であります「“美しき桜心の物語”の語り会」の様子をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

(ビデオ放映)

(事務局)いかがでしたでしょうか。役員の皆さまは、お席をご移動ください。本日は、平野副会長にご出席をいただいておりますので、宮城県鹽竈神社での“美しき桜心の物語”の語り会のご感想やフォーラムに期待することなどについて、一言お願いします。

(平野副会長)いまビデオをご覧いただいた通りなのですが、本当に皆様のご協力のおかげで、開催することができました。有り難うございます。ビデオの中では、細野会長、塩竈市長、美しい山

形・最上川フォーラムの柴田会長からのご挨拶がありました。今、私の隣に座っていらっしゃる、森田副会長もわざわざお越しください、東京周辺から30人以上お越しくださいました。その他、群馬や山形、現地の宮城県県外の方も多くお集まりくださいました。私どもは、県外から訪れて、食べて飲んで泊って、お土産を買って帰ってもらおう、地元でお金を落としてもらおうという復興支援が目的なので、そういった目的が果たせたのではないかと考えております。本当に皆様に感謝しております。また、現地からは、塩竈市長のほかに、講堂をお貸しくださった鹽竈神社の宮司さんが、最初から最後まで会場でご覧くださいました。普通、会場をお借りしても、たいいてい神社仏閣の宮司さんや住職さんなどはご参加されていないことが多いのですが、鹽竈神社の宮司さんはずっとお聴きくださいまして、後から和紙の巻物で丁寧な筆のお手紙をいただきました。「県外からあんなに多くのお客さまが来てくださるとは思いませんでした。本当に嬉しかった」と。それから、「桜の瀬戸内先生の作品もそうなのですが、なにより地元鹽竈桜の復興の物語を掘り起こして、まとめて皆さんに話してくれたことが、すごく嬉しかった」と、感謝の気持ちが溢れる筆の勢いで書かれたお手紙でした。これでまたひとつ、大きな結び付きと、ささやかな支援ができたかなと考えております。そして、今年で11代目になる地元老舗銘菓の方が、「夕方18時半まで仕事だから来られない」とおっしゃっていたのですが、店を早く閉めてお越しくださるなど、地元の方のご協力もありました。多くの方の御心をいただきました。イベントが終わった後の打ち上げの席で、たまたま新宿駅で「東北・夢の桜推進協議会」が主催した「東北物産展」で購入した、小澤酒造さんの「夢の桜街道」という美しいラベルの日本酒を、現場で試飲したらとても美味しかったので1本購入しておいたのですが、まだ飲んでいなかったもので、塩竈に持っていったのです。そして打ち上げの席で開けました。お店に事前に問い合わせたら、お酒の持ち込みは禁止だと言われていたのですが、直接お見せしたら、お店の大将が「そうか！みんな飲め！」と快諾してくださり、グラスを何十個も出してくださいました。そのお酒を皆で分かち合いました。とても美味しかったです。その売上の一部が復興支援になっていくという事をお店の方に話したら、「こういう事は良いね」と賛同してくださいました。今年の桜の咲き方ですが、東京より西は早く咲いて散ってしまったので、私が予定していたお花見が全部駄目で、桜祭りも花がない状態も多く見受けられました。皆さんもそうだったのではないのでしょうか。慌てて咲いて慌てて散ってしまった桜というイメージがあったと思います。そんな中、鹽竈神社はどうかなーと。鹽竈桜の場合は、多少早く咲いてくれたほうが、良い時期に当たるかなと思っていたのですが、いつもの年と同じ、早い桜が終わりかけ、遅い桜が咲きかけという、ちょうど全体に色んな桜が咲いている時期に上手く当たりました。その後東京に戻ってからの1～2週間を見ても、更に北の岩手や青森は、むしろいつもの年より遅れて咲いているという実態を見て、私、思ったのです。ちょうど「東北を桜で、桜で」と言っている間、「東北に皆が観光に行ってしまったら、京都や奈良などの西の方が大打撃だ」という声もどこかにありました。ところが、そういう風に考えていたのは人間で、やはり桜は今年、ゆっくりと腰を据えて、東北に桜を見に行ってもらえるようなタイミングで、まるで申し合わせたかのように、西が早く咲いて早く散り、北に行くほどゆっくりゆっくり咲いてくれた、そんな気持ちがいたします。桜は、人間の生命というものをじっと見つめてくれるんじゃないかなと心から思いました。美しい多摩川フォーラムでの東北復興支

援もそうですが、桜で地域を支援、活性化していくというのは素晴らしいことだと、役員自らが言うのもなんですが、心からそう思いました。これからも、皆様のご協力をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。有り難うございました。

(事務局)有り難うございました。続いて、本来であれば、ダニエル・カール副会長が本日出席の予定で、フォーラムに関する活動について一言いただく予定でしたが、今朝になり、どうしても仕事の関係で欠席となりました。皆さんにくれぐれもよろしくとのことでした。

なお、お時間の関係で、ご紹介できなかった活動が多々ありますが、フォーラムのホームページにビデオレターという形で動画をアップしているものもありますので、ぜひご覧くださいませ。以上で経過報告を終わります。

5. 協 議 (議長:細野会長)

(司会)これより本日の総会の議事運営に移りたいと思います。その前に、議長を選出する必要がありますが、当フォーラムの規約第12条3項により細野会長にお願いしたいと存じます。それでは細野会長、議長席の方へお進みください。よろしくお願い致します。

(細野会長)細野でございます。それでは、規約によりまして暫らくの間、議長を務めさせていただきます。着席したまま進行させていただきますこととお許し願います。それでは、限られた協議時間ですが、皆様におかれましては、既に議案にお目を通して頂いているものとして議事運営を行わせて頂きたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。早速ですが、事務局より第1号議案の説明をお願いします。

(1)第1号議案：平成24年度事業決算(案)

(事務局)1ページ、平成24年度事業決算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は、予算1,900,000円に対し、実績は2,386,000円となりました。これは、平成24年度中に会員が556会員と大幅に増加したことによるもので、本年3月末現在、1,681会員となりました。その他の項目では、青梅信用金庫様、東急百貨店様、大田区民有志様、青梅信用金庫の関連会社の新日本商事様による寄付金のほか、農林水産省関東農政局の交付金、青梅市の助成金が加わり、収入合計額は16,370,837円となりました。

一方、支出の部ですが、運営費の中で、新たにパソコン&ソフト購入として、458,850円が計上されておりますが、これは、経年劣化に伴い、フォーラム事務局のパソコンを急遽更新したことによります。

多摩川夢の桜街道・札所巡り事業ですが、桜ウォーキングの広報費を中心に上振れとなりました。多摩川フォトコン&スケッチ画展はスケッチ画展の開催経費で上振れとなりました。多摩川一斉水質調査ですが、小・中学校に拡大配布するため、報告書を増刷したことから、上振れしております。多摩川クリーンキャンペーンは、チラシを自前で作成したため、下振れとなりました。美しい

多摩川フォーラムの森づくりですが、中学生の下刈り体験の経費を削減したため、下振れしております。環境シンポジウムですが、行政サイドとの日程調整がつかず、未実施となりました。多摩川“水”大学講座は、調布市との共催により、会場費が無償となったため、下振れしております。桜守学校は、小金井市からご後援をいただき、会場費が無償となったため、下振れしております。最後に、東北・夢の桜街道プランですが、青梅信用金庫関連会社 新日本商事様から東北復興に向けて100万円の寄付金をいただき、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出したため、上振れしております。

さて、平成24年度決算の監査ですが、2ページをご覧ください。5月10日に、当フォーラム監事の館盛和様、同じく山崎真義様に監査を受け、監査報告書を頂いております。それでは、監事を代表して山崎様にご報告をお願い致します。

(山崎監事) 只今ご紹介に預かりました監事の山崎でございます。平成24年度事業決算(案)の監査結果について、館監事も同一見解ですので、代表してご報告致します。平成25年5月10日に、平成24年度収支決算報告に基づき、帳簿及び証拠書類その他を精査した結果、相違ないと認めます。また、平成24年度活動実績書に基づき、事業の内容について監査した結果、適正であったことを認めます。以上でございます。

(細野会長) はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第1号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第2号議案の説明をお願いします。

(2)第2号議案：平成25年度事業計画・同予算(案)

(事務局) 4ページ、平成25年度事業計画・同予算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は2,400,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、助成金として青梅市より292,000円を予定しております。一方、支出の部ですが、総会等運営費として、3,450,000円、各種活動費として8,070,000円を計上しております。活動費のうち、東北・夢の桜街道運動として、1,900,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金は2,041,011円となり、合計では、13,561,011円となります。

5ページをご覧ください。3本柱別に主な実施内容を一覧に纏めてみました。平成25年度につきましては、新規事業として経済で「大人のキャック体験教室」がありますが、基本的には継続事業が中心となります。経済の中で、多摩川下流域での桜の札所巡りは、荒天のため、やむを得ず中止とさせていただきます。環境をご覧ください。昨年度まで京王電鉄と共催させていただいた京王クリーンキャンペーンですが、京王電鉄様の事情で、今年度より5月に開催されることになりました。当フォーラムとしても移行を検討しましたが、総会開催日翌日のため準備・調整が難しく、

見送ることいたしました。6ページをご覧ください。平成25年度事業計画(案)の趣旨説明ですが、読み上げます。

- 美しい多摩川フォーラムが平成19年7月に設立され、平成25年度は設立6周年を迎えます。これまで、民間会員と行政会員がそれぞれ対等の立場で議論を重ね、緩やかな合意形成に努め、平成20年4月に策定した基本計画「美しい多摩川100年プラン」に沿って、経済、環境、教育文化の3つの観点から、実践活動を展開してまいりました。
- 設立4年目あたりからフォーラムは安定稼働段階に入り、フォーラムの自立が進んでおります。また、東日本大震災を契機に、東北復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道プラン」が立ち上がり、「東北・夢の桜街道推進協議会」が設立され、2年目を迎えました。抱える問題の深刻さから、10年間支援していくこの運動は、国民運動へと着実に成長しています。
- こうした状況下、平成25年度につきましては、引き続き東北復興支援事業への拠出を織り込んだ上で、原案を取りまとめました。原案策定に当たっては、6年間の実践的な事業活動の成果や3つの活動部会での意見・提案等を踏まえ、以下の事業を選定しました。なお、本年度は、新規事業として「大人のカヤック体験教室」を予定しておりますが、全体としては、既存事業の継続実施が基本となっております。
- このように、平成25年度は、当フォーラムが各方面から地域づくり団体として高いご信頼を頂いていることを肝に銘じ、より円滑・堅実な運営を心がけてまいります。
なお、2013年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究助成金交付について、4月に、財団法人とうきゅう環境財団より、内定の通知をいただきました。7月には助成金交付決定が正式にされる予定です。実施期間は2014年度までの2年間、金額の上限は996,200円となっており、多摩川一斉水質調査の調査項目を増やす等、新たな展開を目指していきます。

以上で第2号議案の説明を終わります。

(細野会長)はい、有り難うございました。基本的には、従来の事業をしっかりとめていくという姿勢です。何か皆様の方からご疑問の点はありませんでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第2号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第3号議案の説明をお願いします。

(3)第3号議案:運営委員・監事の選任(案)

(事務局)9ページ、運営委員・監事の選任(案)をご覧ください。フォーラム規約第7条5項によりまして、現運営委員、監事の皆様におかれましては、本日で任期満了となりますので、議案にあるとおり、今後2年間の任期の運営委員・監事の選任(案)をご提出致します。

なお、新任の運営委員候補の方は、株式会社JTBコーポレートセールス法人営業西東京支店

長の会田和彦様のみとなります。私からの説明は以上です。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご質問はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。…有り難うございました。それでは、賛成多数で第3号議案は可決承認とさせていただきます。

(事務局)ここで、このたび新たに運営委員に就任されました株式会社JTBコーポレートセールス 法人営業西東京支店長の会田和彦様に自己紹介をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

(会田和彦様) ただいまご紹介に預かりました、株式会社JTBコーポレートセールスの会田と申します。今回から運営委員会の席に加えさせていただくことになりました。私どもJTBは、2006年に地域別または業種別に分社化しまして、日本全国の各地域において、地域活性化事業に非常に力を入れております。そんな中で、私ども法人営業西東京支店は、多摩エリア全域を担当させていただいております。まさしく、多摩川流域の活性化に、強く力を入れていくことは、私どもの使命だと思っておりますので、微力ではありますが、頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。有り難うございます。

(事務局) 有り難うございました。それでは、この後、別室にて、臨時運営委員会を開催し、フォーラム規約第7条3項による会長選出等のご協議を頂きますので、新しい運営委員・監事、顧問の皆様におかれましては、事務局でご案内致しますので、お隣の別室にご移動をお願い致します。臨時運営委員会開催の間、会員の皆様におかれましては、暫らくの間、フォーラムの活動状況を収めたビデオ放映をご覧いただければ幸いです。

－休憩(10分～15分)－

6. 臨時運営委員会開催

(1) 新会長選出

(細野会長) 只今より、臨時運営委員会を開催致します。早速ですが、フォーラム規約第7条3項によりまして、新会長の選出を行いたいと存じます。新会長の選出にあたり、立候補される方、ご意見をお持ちの方はいらっしゃいますか。…特にないようでしたら、どなたかご推薦を頂けませんでしょうか。

(平野副会長) はい。引き続き細野先生に会長をお願いしたいです。

(細野会長) 有り難うございました。平野様より引き続き私、細野をご推薦頂きました。他にご推薦、

ご意見等ありますでしょうか。……もしないようでしたら、私、細野でご承認頂けますでしょうか。(拍手)…有り難うございました。それでは、フォーラムの会長を引き続き私が担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

(2)副会長の指名

(細野会長)それでは、フォーラム規約第7条4項により、副会長5名をご指名させていただきます。それでは、副会長には、東京農工大学名誉教授 小倉紀雄様、明星大学副学長 佐久間美智子様、山形弁研究家 ダニエル・カール様、青梅信用金庫理事長 森田昇様、語り部・大阪芸術大学教授の平野啓子様の皆様に引き続きお願いしたいと存じます。名誉会長、顧問、アドバイザーの皆様には引き続き、よろしくお願い致します。

次に、3つの活動部会の部会長についてですが、引き続き私、細野と、平野啓子様、渡邊勇様の3名で担当したいと存じますので、よろしくお願い致します。副部会長につきましても、引き続き、宮坂不二生様、馬淵広三郎様、山崎充哲様にお願いしたいと存じます。お三方にはどうぞよろしくお願い致します。

以上で臨時運営委員会を終了致します。このあと、皆様には総会会場の方へお移り頂ければと存じます。

7. 臨時運営委員会の結果報告

(事務局)只今開催された臨時運営委員会におきまして、フォーラム規約第7条3項により、会長が選任されました。また、規約第7条4項により副会長も指名されました。その結果をご報告致します。会長には、引き続き、中央大学大学院公共政策研究科教授 細野助博様、副会長には、引き続き、東京農工大学名誉教授 小倉紀雄様、明星大学副学長 佐久間美智子様、山形弁研究家 ダニエル・カール様、青梅信用金庫理事長 森田昇様、語り部・大阪芸術大学教授の平野啓子様が就任されました。名誉会長、顧問、アドバイザーの皆様には引き続き、よろしくお願い致します。

次に、3つの活動部会についてですが、フォーラム規約第14条3項および4項により、引き続き、細野会長、平野副会長、渡邊運営委員が各部会長に就任されました。部会長をサポートする副部会長には、引き続き、宮坂運営委員、馬淵運営委員、山崎運営委員が就任されました。ここで、細野会長にご挨拶を頂戴したいと存じます。

(細野会長) 第2期目のご指名です。1期目に、会長として何が出来て何が出来なかったかということを実際に反省すると同時に、引き続き、皆様のお力をお借りして、日本社会がこのフォーラムに対して何を期待しているかということを実正面から受け止め、全力を尽くして活動をしていきたいと思っています。社会がフォーラムに期待することは、次第に多くなっています。「アベノミクス」ということで、経済的な面での再生が実現しようとしています。今一度、社会あるいは公共というものに、どういう下支えをしたら良いのか、日本の将来をどのようなかたちで形づくるか、といった時

に、こういう草の根の活動がいかに大事であるかを、皆さんと同じ価値観で考えていきたいと思えます。

(事務局)細野会長、ご挨拶有り難うございました。フォーラム会員一同、細野会長の元で、引き続きフォーラム活動に邁進していきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。それでは、役員の皆様にエールの拍手をお願い致します。

8. 意見交換 (細野会長)

(細野会長) 有り難うございます。このフォーラムは、皆様に開かれたフォーラムです。自由に意見を交換し、素晴らしいアイデアを即座に実行しようという組織です。時間の関係もありますが、せっかくなので、この機会に、今後のフォーラム活動を展望して、皆様からご意見・ご要望等を頂戴したいと存じます。

(会員) 2点ほど提案があります。まず1つ目は、昨年11月に開催されたクリーンキャンペーンです。私が以前勤めていた会社でも、月1回清掃活動をしていました。場所は都度変更し、何班かに分かれて実施しました。もし取り入れていただくことができれば、提案します。2つ目は、個人的にマラソンをしている関係で、青梅マラソンでフォーラムのブースを出展されているとのことですが、多摩地区では他に、立川で3月にハーフマラソン、川崎では多摩川マラソンが開催されています。そういった所にもブースを出展されてはどうかと思います。また、マラソンの前後に清掃活動をしたらどうかと思い、提案をさせていただきます。

(細野会長) 有り難うございました。早速実現に向けて検討してみたいと思います。他にございますか。

(村田様) 昭島から来ました村田と申します。役員の方で重席されている方がいらっしゃいますが、あえて厳しくいきたいと思えます。フォーラムは、ソフトランディングして住民の皆様を受け入れやすくしていますが、私は少しハードに考えております。多摩川なくして多摩川フォーラムはありません。多摩川で事故があった場合、どうなるのでしょうか。JR八高線にかかる多摩川の橋脚の下が陥没しています。ご存知の方はいますか？もしくは、八高線をご利用の方はいらっしゃいますか。八高線の多摩川の下が浸食されています。基礎が削られています。もし、大水や地震があり、八高線が崩落したら、誰が責任を取るのでしょうか。私は4～5年間様子を見ていますが、この間、国交省は、去年の4月から黒と黄色のペインティングで注意の表示をしています。なぜ国交省は、それだけではなく、直す、もしくは利用者に直すことを勧告しないのでしょうか。また、JR利用客の安全を守るために、不具合点を早く改修しなければならないはずのJRに確認したところ、「まだ検討中」とのことでした。それで良いのでしょうか。原因として分かったことは、上流で、礫(レキ)が堆積しており、大水の際、その礫が研磨剤のようにコンクリートを削ってしまうのです。この4年間で、

かなり削られています。私は、昭島市環境課の市民スタッフとして活動しているため、環境課にも報告したところ、「これについて、昭島市は関係ない。国交省やJRだ。」と言われました。でも、昭島市の領域なのです。事故があった時、昭島市の消防署と警察が駆けつけます。昭島市に責任はないのでしょうか。私はあると思います。このフォーラムが設立された当初から、私は会員となっています。フォーラムで実施している水質調査でも、平井川の調査を担当しています。その平井川でも、浸食が確認されました。フォーラムも、市民側の意見として、JRさんや国交省に言っていたきたいと思います。私たち個人では言うことができませんので、よろしくお願いいたします。

(細野会長) 有り難うございました。大事な話ですね。もう一人だけ、お願いします。

(藤井様) 中央大学校友会で、下流にある大田区支部の会員の藤井と申します。フォーラムに対する激励という意味でお話をします。いつも活動を感じて見ております。「アベノミクス」と言われておりますが、下流の大田区には、日本一のハブ空港である東京国際空港(羽田空港)があり、ものすごい勢いで伸びています。この波及効果が、いずれは多摩地区にも表れると思いますが、その時のために、多摩地区も体制を整えておかなければならないと思います。前から申し上げておりますが、地域経済活性化のためには、交通網の整備が大事です。リニアモーターカーは、始発は品川駅ですが、次の駅は橋本駅になることが決定しています。橋本駅だと、八王子、多摩センターや立川も繋がります。多摩都市モノレールも完成しています。これには、年間6千万人が利用しています。多摩地区は、沈滞ムードだというような、寂しい話を聞きますが、交通網の整備で変わると思います。計画では、多摩都市モノレールは、環状線になる予定です。ですから、上北台から箱根ヶ崎まで予定があるならば、フォーラムからも都や国に提案して、お金がないのであれば、路面電車に変更して、交通網を整備していけば良いのではないかと思います。

(細野会長) 有り難うございました。力強い励ましの言葉でした。他にありますか。はい、どうぞ。

(山崎教育文化副部長) 運営委員で、おさかなポストの山崎と申します。色々なご意見があり、まだまだ言い足りないことがいっぱいあると思いますが、美しい多摩川フォーラムはホームページも持っておりますが、facebook もあります。今日は若い方も沢山参加されていますので、facebook を活用しながら、色々な意見を出してみてもどうでしょうか。まずは「いいね！」をお願いします。

(細野会長) 良いアイデアを有り難うございました。では事務局にマイクをお返しします。

(事務局) 皆さん、貴重なご意見を有り難うございました。今後のフォーラム活動に反映させて参りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。細野会長、お席にお戻りください。それでは司会者にバトンタッチ致します。

9. 「多摩川の歌」合唱（三多摩青年合唱団）

（司会）皆様お待たせ致しました。それでは、美しい多摩川フォーラムの歌である「多摩川の歌」を、三多摩青年合唱団の歌声に乗せてお届けしたいと存じます。準備のため、いましばらくお待ちくださいませ。三多摩青年合唱団は、結成されてはや50年。『歌は生きる力』をモットーに、演奏活動を行っています。それでは、よろしくお願い致します。

（三多摩青年合唱団）皆様、こんにちは。ただいまご紹介に預かりました、三多摩青年合唱団です。美しい多摩川フォーラムの運動の中から、この「多摩川の歌」が生まれた時、初演をさせていただきました。あの時の感激は、今でも昨日の事のように思い出します。その後も何度か演奏させていただき、今回が3回目となります。私たちも多摩川フォーラムの会員ですが、この多摩川フォーラムの運動が、三多摩地域や日本全国にもっともっと知ってもらい、発展していくことを願っています。今日は、「多摩川の歌」そして「これから百年」の2曲をお届けします。

…… 合 唱 ……

（1）多摩川の歌、（2）これから百年

（司会）皆さん、有り難うございました。如何でしたでしょうか。うっとりするような「多摩川の歌」でしたね。フォーラムでは、引き続き、「多摩川の歌」の普及に努めて参りたいと存じます。それでは、以上をもちまして、「多摩川の歌」の合唱を終ります。改めて、三多摩青年合唱団の皆さんに盛大な拍手をお願い致します。

10. 顧問挨拶（井上環境副大臣）

（司会）さて、早いもので、総会のお開きの時間も迫ってきております。ここで、顧問を代表して井上信治環境副大臣にご挨拶を頂戴したいと存じます。よろしくお願い致します。

（井上顧問）美しい多摩川フォーラムの総会、大変おめでとうございます。そして、遅くなってしまい、申し訳ございません。顧問を拝命いたしております、地元衆議院議員の井上信治です。繰り返すまでもありませんが、多摩川フォーラムは、設立されて6周年であります。その間様々な社会貢献事業に尽力いただき、大変感謝を申し上げます。細野会長をはじめとした委員の皆様や協力企業の皆様、そして事務局を務めている青梅信用金庫様と、本当に皆様のご尽力の賜物だと、心から敬意を表したいと思っております。現在環境副大臣を務めております立場から申し上げますと、美しい多摩川の環境保全にご尽力いただいていることが、本当に有り難いと思っております。多摩川の水質調査であるとか、子どもたちの環境教育などの大事なことを、私たち行政がやるのは当然のことですが、民間の皆様が自発的に行動し、成果を出していただいているということで、全国でも珍しい、一つの素晴らしいリーディングケースになっていると、私も高く評価をさせていただいております。もう一つは、被災地のために、東北の桜街道を整備していくということで、これも有り

難しいと思います。私も環境副大臣として、除染や災害瓦礫の処分のため、毎週被災地に通っております。今、被災者の方が私に必ず言う言葉があります。「私たちのことを忘れないでほしい」とおっしゃいます。大震災から2年2カ月が経ち、ともすれば私たち国民の心から、被災の記憶が薄れかけています。しかし被災者にとっては、日常の暮らしであり、これからの大きな人生なのです。ですから、そういう意味でこの復興支援も、どうしても歳月がかかってしまいます。この美しい多摩川フォーラムでも、100年計画まで立てていただいて、色々なプランをやっていただいておりますが、これからも末長く、一致協力をして、美しい多摩川の実現のために益々ご尽力をいただきたいと思います。総会おめでとうございます。

11. 会長総括（細野）

（司会）有り難うございました。それでは、ここで、細野会長に総括をお願いしたいと存じます。

（細野会長）総会もフィナーレとなりました。先ほど、井上環境副大臣から力強いエールをいただきました。本日はお忙しい中お越しいただきまして、有り難うございました。副大臣の話にもありましたように、美しい多摩川は100年プランを持っています。また、東北復興支援については10年プランで進めています。これから私たちは、先ほどの歌にもありましたように、皆様と一緒に「心と心をゆるく結んで」、東北や日本に向かって「もっと元気になりましょう」と、地域から叫びたい、活動したいと思っております。これから平成25年度の活動がスタートしますが、我々も100年に向かって一生懸命頑張りたいと思います。これからもご支援をお願い致します。

12. 閉会挨拶（森田副会長）

（司会）有り難うございました。それでは閉会挨拶と致しまして、森田副会長をお願い致します。

（森田副会長）閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、美しい多摩川フォーラムの平成25年度総会を開催させていただきましたところ、土曜日でご計画があった方もいらっしゃるかと思います。沢山の方にご出席いただき、有り難うございました。総会には、3本の議案を提出させていただきましたが、全ての議案が滞りなく承認・可決させていただきました。有り難うございました。平成25年度も、細野会長を先頭に頑張りたいと思っておりますが、フォーラムも年々注目度が高くなり、責任も重くなってきております。毎年の事業を責任を持って着々と進めていくには、会員の皆様のご支援・ご協力がなければ成り立ちません。どうぞ平成25年度も会員の皆様のご支援・ご協力をお願いしたいと思っております。最後に、ご出席の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、閉会挨拶とさせていただきます。本日は大変有り難うございました。ご苦労様でした。

13. 閉 会

（司会）有り難うございました。皆様、本日は長時間に亘り、会議進行にご協力を頂きまして、誠

に有り難うございました。これをもちまして、本日の美しい多摩川フォーラム・平成25年度総会を閉会とさせていただきます。有り難うございました。

以 上